

中区役所本館改修工事に伴う設計業務委託

本設計業務委託にあたって、公募型特別簡易プロポーザルを実施し、設計者選定を行いました。

● 委託業務の概要

1 目的

中区役所は昭和 58 年の竣工以来、アール状の軒裏がある特徴的な外観、大階段や吹き抜けなどの大空間、外構に設えられた豊かな緑など、多くの魅力を持ちながら区民・市民の皆さんに親しまれ、約 35 年が経過しました。

しかし、最近になり、掲示物の展示の仕方や案内ブースの配置等、十分に空間を活用し切れていない課題があることが分かりました。

本改修工事は、本来、中区庁舎が持っていた魅力を取り戻しながら、新たに賑わいを創出する内・外部スペースを設け、また、建物の顔となるエントランスホールや外構を開放的で明るい印象となるように再整備することにより、さらに区民・市民の皆さんに愛され親しまれる区役所とすることを目的とします。

2 一連の業務委託契約（予定）

- (1) 基本設計 契約締結日 から 平成 31 年 3 月 29 日まで（今回）
- (2) 実施設計 平成 31 年 4 月頃 から 平成 31 年 7 月頃まで（予定）
- (3) 工事監理 平成 31 年 8 月頃 から 平成 32 年 3 月頃まで（予定）

● 実施の経緯

平成 30 年 11 月 8 日(木)	第二入札参加資格審査・指名業者選定委員会（実施方法等の決定）
平成 30 年 11 月 13 日(火)	実施の公表
平成 30 年 11 月 19 日(月)	参加意向申出書の提出期限（4 者より申出） 株式会社みかんぐみ 株式会社オンデザインパートナーズ 建築設計加藤住吉一級建築士事務所 協同組合横浜デザインフォーラム
平成 30 年 11 月 20 日(火)	提案資格確認結果通知書の交付（4 者へ交付）
平成 30 年 11 月 21 日(水)	質問書の提出期限（質問あり 1 者）
平成 30 年 11 月 22 日(木)	回答書の送付
平成 30 年 11 月 27 日(火)	提案書の提出期限（4 者より提出）
平成 30 年 12 月 3 日(月)	評価委員会
平成 30 年 12 月 6 日(木)	第二入札参加資格審査・指名業者選定委員会（受託候補者等の特定）

● 評価委員

建築局公共建築部営繕企画課長	（委員長）
建築局公共建築部施設整備課長	（副委員長）
建築局公共建築部電気設備課長	（委員）
都市整備局企画部都市デザイン室長	（委員）
中区総務部総務課長	（委員）

● 提案書の内容

1 提案項目

「2 提案書作成上の計画条件」を前提とし、コスト縮減、施設の長寿命化、周辺景観に配慮しながら、下記の項目について提案してください。

(1) 改修計画の考え方についての提案

建物自体の魅力を継承しながら、内部空間については、一体的に広がる1階から2階までを区民やまちに開かれた明るく使いやすい空間とするとともに、外部空間については、愛着や誇りを持てる公共建築物として、人を引き込む開かれた空間を再形成する改修計画の考え方についての提案

(2) 工事中の安全・区役所運営等への配慮についての提案

区役所運営中の工事となるため、工事中の来庁者や職員などの安全配慮や区役所運営等に配慮した工程計画及び仮設計画の工夫などについての提案

(3) 業務の成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制についての提案

本業務を実施するにあたっての、成果物等（報告書及び図面、積算関係書類等）の品質向上を図るための方法についての提案、スケジュールの組立て方や管理方法などの業務の進め方に対する提案及び関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制についての提案

2 提案書作成上の計画条件

提案書を作成するにあたり、次のとおり計画条件を設定します。

なお、計画条件は、契約後の設計委託業務の与条件とは異なる場合があります、設計委託業務は、提案書の内容にかかわらず、契約後に提示する与条件に基づき行います。

(1) 計画概要

1 エントランスホール（1、2階）の空間的連続性及び一体感の再現

大階段や吹き抜けなどの大空間の魅力を活かし、1、2階の空間的連続性及び一体感を得るために、案内ブースや設置物等の再配置や撤去を行うことで、明るく開放的な空間とします。

2 エントランスホール（1、2階）の照明計画の再構築

外部までつながる特徴的なヴォールト天井を活かすことのできる照明計画の再構築をします。エントランスホールにおいては、眩しさに配慮しつつ明るい空間となるよう計画します。

3 外構の照明による演出

低層部を中心に照明等による意匠的演出を行うことで、中区庁舎のシンボル性を高め、周辺と一体的な魅力的な街並みを形成します。

4 建物周辺の外構改修

区民に開かれた庁舎とするために外構部分を再構築し、歩道部分と施設内部の一体感の形成や、憩いの空間、イベントなど様々な活用できる空間を形成します。

(2) 敷地概要

ア 現地場所	中区日本大通り 35 番地
イ 敷地面積	1,483.66 m ²
ウ 用途地域等	商業地域（建蔽率 80%、容積率 700%）、第 7 種高度地区、防火地域、中央地区、駐車場整備地区、日本大通り用途誘導地区地区計画、景観計画（関内地区日本大通り特定地区）、都市景観協議地区（関内地区日本大通り特定地区）

(3) 既存建物概要

ア 構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
イ 階数	地上 8 階、地下 2 階建て
ウ 延べ面積	9,154.64 m ²
エ 建築面積	1,111.15 m ²
オ 竣工	昭和 58 年

(4) 計画をする上での留意事項

公開空地（横浜市市街地環境設計制度適用）、公共緑化（横浜市建築物緑化認定証取得）を設けている敷地となっています。また、地区計画や都市景観協議地区などにも指定されている地域です。各制度を理解し、周辺のまちなみと調和のとれた実現可能な改修計画の提案としてください。

● **結果**

受託候補者：建築設計加藤住吉一級建築士事務所

(評価の理由)

全体的にコスト縮減や長寿命化を意識した具体的な提案になっており評価されました。特に駐輪場対策や照明計画等の提案、工事中の安全に配慮しつつ改修を身近に感じてもらえる現場づくりの提案等が評価されました。